

		南浜 みなみはま		南浜 みなみはま		メヌウシヨロ	目忍路	メヌウシヨロ		2部	上ノ尻村 メノウシヨロ		女忍路村 メヌウシヨロ	メヌウシヨロ	メヌウシヨロ	メヌカシヨロ	メヌウツシエロ	メヌウシヨロ			上ノ尻：由来不明
		野中 のなか		野中 のなか		チカップワキ		チカップワキ		1部				チカベエクキ	チカベエワキ		チカヘワキ	チカベエワキ	チカフンワシ		
						ノツチュウ		ノツチュウ			野中			モチヨキ	モチヨキ		モチヨキ	モチヨキ			
						ノチユウ		ノチユウ						ユウニ	ユウニ		ユウニイ	ユウニ			野中：アイヌ語に由来。現在、通例で「のちゅう」と呼ばれる。
利尻町 りしり ちょう	仙法志 せんほう し	御崎 みさき	利尻町	御崎 みさき	仙法志 村	ヤマナカ	山中	ヤマナカ	仙法志 村	1部	山中	仙法志 村	仙法志 村 センボ ウシ	ボンチシマリ	ボンチシマリ		ホロチシマリ	ホンチシマリ		ウエンルム崎	
		元村 もとむら		元村 もとむら		センホウシ		センホウシ		2部	仙法志村			ニクワウシ	ニクワウシ		ニクワウシ	ニクワウシ			御崎：岬の上にあることに由来か 山中：ヤムワッカ（更科資料のみ）
		本町 ほんちょう		仙法志 せんほうし		マオヤニ		マオヤニ		3部				チカフセウシ	チカフセウシ		チカフセウシ	チカフセウシ			元村：仙法志発祥に由来、元仙法志とも呼ばれる
		政治 まさどまり		政治 まさどまり		マサントマリ		マサントマリ		4部	マオヤニ			ゼンボーヂ	ゼンボーヂ	チセホーツ	チセホロシ	チセホラチ			本町：1956年の沓形町・仙法志村合併による
		神磯 かみいそ		神磯 かみいそ		ベ(ヘ)ウタンケウシ		ベウタンケウシ		5部	マサントマリ			マサントマリ	マサントマリ	マシヤトマリ	マサントマリ	マサントマリ			政治：アイヌ語に由来
		長浜 ながはま		長浜 ながはま				ナガハマ		6部	長濱			マサントマリ	マサントマリ	マシヤトマリ	マサントマリ	マサントマリ			神磯：三吉神社と平磯の海岸に由来か
		久連 くづれ		久連 くづれ		クヅレ				7部	クヅレ			マサントマリ	マサントマリ	マシヤトマリ	マサントマリ	マサントマリ			長浜：長い海岸線に由来 キラク町、ノンキ町
	沓形 くつが た	蘭泊 らんどまり		蘭泊 らんどまり	沓形村 1949～ 沓形町	メニ			沓形村			沓形村	沓形村 クツカ タ (案) 沓神田 村	ヲニタエシベカ	ヲニタエシベカ		ヲニタシベ	ヲニタイベシ			久連（玖津礼）：昔は始終土砂が「崩れ」てくる所に由来。蘭泊側は大久連とも呼ばれる。
		神居 かむい		神居 かむい		カモ(ム)イヌカ	神威糠	カモイヌカ						メニ	メニ	メニ	メニ、ムノシヨロ	メニ			蘭泊：アイヌ語に由来 小樽町、積丹町 神居：アイヌ語に由来
		泉町 いずみちょう		泉町 いずみちょう		マタワッカ	赤稚	マタワツカ						ニヲヤンヒウカ	ヲニヤシビウロ	ニヲヤシベツカ	ニヲヤンビウカ	ニヲヤンビウカ			泉町：マタワッカに由来
		富士見町 ふじみちょう		富士見町 ふじみちょう		クツカンタ	沓神田	クツカンダ						ベライチヲヤニ	ベライチホヤニ	ヘラエチホヤシ	ヘラエチホヤニ	ヘラエチホヤニ			
		本町 ほんちょう		本町 ほんちょう										ルラントマリ	ルラントマリ	ルラントマリ	ルラントマリ	ルラントマリ			
		日出町 ひのでちょう		日出町 ひのでちょう										アキシラリ	アキシラリ	アキシラリ	アキシラリ	アキシラリ			
		緑町 みどりちょう		緑町 みどりちょう										カムイヌカ	カムイヌカ	カムイヌカ		カムイヌカ	カモエノカ		
		富野 とみの		富野 とみの		クツカンタ								クシユンノツ	クシユンノツ	クシユンノツ	クシユンノツ	クシユンノチ			種富町：本地域の昆布が「種」昆布として珍重、権太の出稼ぎ先が富内（トンナイ）なので、「富」を使用（児玉平太郎）。
		種富町 たねとみちょう		種富町 たねとみちょう		タネトンナイ	種屯内	タネトンナイ						マカワッカ	マカワッカ	マタツソカ	マタワッカ	マタワッカ	マタワツカ		
		新湊 しんみなと		新湊 しんみなと										クツカンダ (タ)	クツカンタ				クツカント 崎		
		栄浜 さかえはま		栄浜 さかえはま		ビヤコロ	美也古呂	ビヤコロ													柳田町（南側）、宮町（広嶽神社通り）、越中町（北側） 新湊：開拓移住の先駆けである新浜藤吉の「新」と昭和初期造成の漁「港」を発展の礎になるよう命名
						ワツカトマリ	日中	日中													種富町：本地域の昆布が「種」昆布として珍重、権太の出稼ぎ先が富内（トンナイ）なので、「富」を使用（児玉平太郎）。
						ニツチュウ															柳田町（南側）、宮町（広嶽神社通り）、越中町（北側） 新湊：開拓移住の先駆けである新浜藤吉の「新」と昭和初期造成の漁「港」を発展の礎になるよう命名
						トピウスカ															種富町：本地域の昆布が「種」昆布として珍重、権太の出稼ぎ先が富内（トンナイ）なので、「富」を使用（児玉平太郎）。
						ボロニシヨ															柳田町（南側）、宮町（広嶽神社通り）、越中町（北側） 新湊：開拓移住の先駆けである新浜藤吉の「新」と昭和初期造成の漁「港」を発展の礎になるよう命名
														ポロニシヨ	ホロニシヨ	ホロニシヨ		ホロニシヨ			種富町：本地域の昆布が「種」昆布として珍重、権太の出稼ぎ先が富内（トンナイ）なので、「富」を使用（児玉平太郎）。
														ボンニシヨ	ホンニシヨ	ホンニシヨ	ホンニシヨ	ホンニシヨ	ニシヨ		栄浜：漁業が栄えるように命名 日中：アイヌ語に由来（ニシユ：白形の岩か）